

願いが叶いますように…

武家屋敷で「七夕かざり」開催

8月6日から8日までの3日間、「七夕かざり」(白石市文化体育振興財団主催)が片倉家中武家屋敷(旧小関家)で開催されました。期間中の8月7日には第一児童館放課後児童クラブに通う児童たちが来場。「白石民話の会」の荒井禮さんから、白石に伝わる七夕飾りの意味の説明を受けました。児童たちは「ピアノがうまくなりますように」「スポーツカーがほしい」など、思いの願いを短冊に書き、ササの葉に飾り付けていました。その後、児童たちは振る舞われたかき氷をほお張りながら「七夕かざり」を楽しんでいました。



▲願い事を書いた短冊を飾り終えた児童たち

楽しく生態調査

白川小奥地区で「小川と仲良くなろう」

8月4日、白川小奥地区で「小川と仲良くなろう」(小奥環境資源保全隊主催、代表佐藤勇二)が白石川支流の土手川上流で行われました。この催しは、子どもたちに小川の水質調査などを通して身近な水環境に関心を持つと共に、小川に生息する生き物に触れることで子どもたちの好奇心を育むことを目的に開催。この日は同地区の小学生など約30人が参加しました。参加者たちは、土手川の水質調査を行った後、土手川に生息する生き物を採取。参加者は「近くの川にもたくさん魚などがいることを知りました」と目を輝かせて話してくれました。



▲浮きを使って水の流れる速さを調査する参加者たち

スポーツで交流を深める

海老名市×白石市 親善サッカー交流大会

8月8日、「海老名市×白石市 親善サッカー交流大会」が白石第二小学校で開催され、海老名市と本市の小学生や指導者など約50人が参加しました。大会は、風間文静体育協会会長が「皆さんは勝つために練習をしています。親善試合ですが、試合は全力で戦って、試合の後には親ほくを深めてください」とあいさつしてスタート。白熱した試合の後は場所を移してバーベキューなどで懇親を深めました。参加した選手は「海老名のチームは強かったけど、一緒にバーベキューもできて楽しかったです」と笑顔で話し交流を深めていました。



▲海老名チームのゴール前に攻め込む白石チームの選手たち

遊びがたくさん 楽しいな♪

中央公民館で「遊びの達人養成講座 part17」

8月2日、「遊びの達人養成講座 part17」(白石市子ども会育成会連合会主催)を中央公民館で行い、約180人が来場しました。この催しは、毎年8月の第1日曜日に開催しており、今年で17回目、市内外から遊びの達人を先生として招き、シャボン玉や竹トンボ・竹てっぽう作り、金魚すくい、あやとりなど9種類の遊びのブースを設置。来場者は「大きなシャボン玉を作れて楽しかったです」「竹トンボを作るのは少し難しかったけど、自分で作って飛ばすのが楽しかったです」と興奮した表情で話してくれました。



▲大きなシャボン玉作りにチャレンジする来場者たち

サッカーで白石温麺をPR

白石温麺ウーマンズ杯女子サッカー大会

8月8・9日の両日、「第3回白石温麺ウーマンズ杯女子サッカー大会」が白石川サッカー公園で開催され、県内外から高校・大学の強豪6チームが参加しました。

この大会は、女子サッカーのレベルアップを図ろうと奥州白石温麺共同組合と白石サッカー協会が「温麺」と「women(女子)」の発音が似ていることから企画。真夏の暑さにも負けない熱戦を繰り広げました。

昼食には白石温麺が振る舞われ、選手たちは「冷たくて美味しい。麺が短くて食べやすいので、試合の合間に食べるのにもいいですね」と話してくれました。



▲ゴール前で競り合う選手たち

地域とともに 感謝の気持ち

南中学校 花いっぱい運動

7月22日、南中学校の3年生15人が、日ごろお世話になっている地域の人たちに、感謝の気持ちを伝えようと、学区内の越河・斎川地区の高齢者宅などを訪問し、マリーゴールドを植えたプランターと感謝の手紙を綴った手紙をプレゼントしました。

生徒たちは、「いつも見守ってくれてありがとうございます。感謝の気持ちを込めて育てました」などと声を掛け、プランターと手紙を手渡しました。受け取った地域の方は、「毎年、お花を頂いてとてもうれしいです。大切に育てます」と笑顔で話していました。



▲マリーゴールドと感謝の手紙を渡す生徒たち

名取高校が団体優勝

第44回東北高等学校新体操選手権大会



6月28日、「第44回東北高等学校新体操選手権大会」がホワイトキューブで開催されました。男子新体操団体には、東北各県を代表し本大会への出場を果たした9チームが出場。キューブ新体操教室OBを中心とした名取高校が青森山田高校と同点優勝を果たしました。宮城県勢の優勝は、昭和50年に仙台育英学園が優勝して以来の快挙！ 今大会で使用されたスプリング式マットは、これまでのゴム式マットから、スポーツ振興くじ助成金の交付を受け、市が本年5月に整備したものの。選手強化や主要大会誘致による地域活性化などが期待されます。



▲団体優勝を果たした名取高校。ダンサブルな演技に会場が沸いた

世代を超えた交流で笑顔がいっぱい

放課後児童クラブ児童たちが施設を訪問

8月6日、第一児童館の放課後児童クラブに通う児童としろいし母親クラブ(佐々木とし子会長)の会員など約40人が介護老人保健施設清風を訪れました。この催しは、児童たちが高齢の方たちと交流することを目的に平成18年から毎年実施。児童たちによる「白石うーめん体操」の披露や同クラブ会員による大型絵本の読み聞かせなどで施設利用者と交流しました。施設利用者とペアになって行った手遊びではたくさんの笑顔が！ 児童たちは「おじちゃん、おばあちゃん、一緒に遊べて楽しかったです。また来年も来ます！」と元気に話していました。



▲手遊び「うちのこんべいとうさん」をする児童と施設利用者たち